

市が生き残るための戦略は

質問

平成52年までには全国の約1千800ある市区町村のうち、896の自治体が消滅してしまつ可能性がある。市としてシテイセールス、シティブロモーションの戦略、方針はあるか。

企画部長

市のマスコットキャラクター「あいさいさん」がPRしている。また、エコファーマー農家が生産した農産物を「ぐるぐる農産物」として指定し、ブランド化を図っている。今後は地方版総合戦略で検

質問

合併後10年たち市のイベントを統一、削減の考えはないか。

企画部長

イベント行事などを統一することは一つの手法であるが、当分の間は現在のまま行う。

質問

庁舎が新設、駐車場も広くなり、愛西祭りという形でできないか。

総務部長

佐屋地区の文化祭バザーを愛西祭りとしてはとの提案だが、変更する考えはない。

質問

市が生き残るため、シテイセールス戦略プラン策定計画は。

企画部長

市に人、物、お金、情報を呼び込むため、シテイセールス戦略プランを単独で策定するのでなく、地方創生の地方版総合戦略と合わせて考える。

質問

市長として市全体でイベントの考えはないか。

市長

市が一体となる行事は市内外に対して大変意味がある。各種団体、市民の意見も聞き考えていく。

地方創生の推進と期待は

質問

地方創生について、地域の特性を踏まえた地方人口ビジョンと地方版総合戦略を策定する専門能力を有する人材活用が必要と考えるが、所見をうかがいたい。

企画部長

専門能力を有する外部の人材が必要な時は、前向きに検討したい。

質問

市が発展するための、地方創生に対する期待は。

市長

この支援策を活用し、職員 の資質向上を目指すために、市の将来を見据えた計画の素案づくりを職員みずから進めることが大切である。これを地方創生として生かしていきたい。魅力ある市にするために実効性のある総合戦略を策定していく。

その他の質問

- ・ 公共施設の在り方は
- ・ 会議等の公開制度は



山岡 幹雄 議員

